

福智も先駆けた「少人数学級」全国展開

合併時から「教育の町」を目指し、町が教員を採用する「少人数学級」を実施している福智町。このことにより「子どもと向き合う時間をしっかりと確保する」「子どもの特性を見つけ、個性をのばす」「習熟度に合わせた授業を行う」など、一人ひとりに、よりきめ細かな教育を行うことが可能になっています。

今年8月、文科省は30年ぶりに40人学級を見直す案をまとめ、来年度から段階的に実現させていく方針です。「少人数学級」は今、全国的な取り組みへと発展しています。



←町の施策の少人数指導

interview

より大きな夢が描けるように

福智の子に、どのような将来の目標を描かせられるか。夢を抱かせることができるのか。それが教育の原点であり、一つの成果だと思っています。学力向上や不登校の解消、規範意識の育成など、教育現場が直面する課題は山積しています。しかし、子どもたちが夢や希望を持ち、その実現のために何が必要なのかをわたしたちが共に考え、動き出すことができれば、多くの課題は解決できるものだと思っています。そのためにも子どもたちには「学ぶ力」と「生きる力」が不可欠。「学ぶ力」は身となる知識を生み出し、さらに体験の上積みによって「生きる力」が培われるのです。子どもたちは、自分の力を実感しながら、困難を乗り越え、より大きな夢に向かっていくことができる…。子どもたちにとって夢が欠かせないように、大人たちや教育にもロマンが必要だと思っています。

福智町教育委員会
嶋野勝 教育長

大量の情報が行き交い、競争と技術革新が絶え間なく起こる。これからの社会を生き抜いていく子どもたち。とても学力だけで対応できる社会ではありません。そこには「課題を見つけ解決する力」「コミュニケーション能力」「多様な観点から考察する力」「情報を取捨選択できる力」など、広い知識と柔軟な頭で、新しい「知」や「価値」を創り出す力が求められます。それらは、厳しい社会を生

き抜いていくために必要とされる「生きる力」の一部。これからの教育では、この「生きる力」の育成が主題となってきます。「生きる力」とは、「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」という「知」「徳」「体」が育成され、バランスのとれた力のこと。「学ぶ力」を活用して、自ら考え、判断し、表現することで、激動の時代に適応し、逆境を乗り越えていける力を指します。それはいかなる場面でも、発揮でき、生かされる力でなくてはなりません。

各校の活動紹介④
弁城小 体力づくり

毎朝の「パワーアップタイム」で5分間走を行い、体力と忍耐力の育成を図る弁城小。11月10日の「大なわ大会」では、1～6年生までの縦割り班で協力し合い、力を出し切りました。



「生きる力」がなければ、子どもたちは将来、自分らしく生きていくことができません。たとえ自分の思い描いた道や目指すべき道を見つけたとしても、いくつもの小さな壁にたつまずき、自分を見失ってしまいます。「生きる力」が、夢や目標を持つて意欲的に挑戦しつづけ、いきいきと目を輝かせて生きていける将来の大人をはぐくみます。激しい変化と厳しい時代の波に淘汰されない「ひとり立ちできる子ども」の育成が、今まさに必要とされています。

次代に不可欠な「生きる力」

学びの基礎体力「学ぶ力」

多くの子どもは「今なんて学ぶのか」「そのことが将来の自分にどうつながるのか」を理解できないまま学び、それが「与えられた人生を精いっぱい生きるための学び」であることに気付いていません。入学して社会に出るまでのわず

か十数年間が、社会に出て人生を全うするまでのはるかに長い人生を左右するという現実を認識できていないのです。基礎的な知識や思考能力が無ければ、何が正しくて、どれだけ大切なかを判別できません。つまり、基礎学力がなければ、生きていくうえで必要な理解や判断ができないこととなります。

人の一生は「学び」の連続です。だれもが生まれて間もないころは、命や生活をすべて親や他人にゆだねています。そこから成長していく過程の中で、生きるために多くのことを学んでいくのです。学校での勉強は、そんな「学び」の一部。子どもは「勉強する」とをとおして「考える力」や「理解する力」などの「学ぶ力」

を身につけていきます。この学びの基礎体力のもとに知識が積み上げられ、その一部がテストなどの「成績」に表れます。教科書の内容を詰め込み、暗記することは、すぐに「成績」として評価されますが、今後の長い人生を生きていくうえで本当に必要なのは、生きた知識を自分のものにしていく「学ぶ力」です。

学びの根本を見直す

「学ぶ力」と「生きる力」



これまでは、すべての子どもたちに一定の学力をつけさせることが目標で、それが時代の要請でもありました。しかし、これからの教育は「ゆとり」でも「詰め込み」でもありません。「学ぶ力」をベースに、厳しい社会を生き抜く「生きる力」をはぐくむことが柱になります。



各校の活動紹介⑤ 伊方小 職場体験学習

通常中学で取り組む職場体験を6年生が行う伊方小。仕事の厳しさややりがいをおして生きる力を身に付け、貴重な体験から将来の夢と可能性を広げています。

10月22日に市場小、金田小、伊方小の児童271人が福智山を目指した鍛錬登山。3校の子どもたちは山頂から町を見渡し、雄大な展望と大自然の中で自己の存在を見つめました。